

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	高機能化ナノカーボン創成と革新的エネルギーデバイス開発
研究代表者	丸山 茂夫（東京大学・大学院工学系研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、カーボンナノチューブ、フラレン、グラフェンなどナノカーボン物質の持つ様々な特性を機能化し、さらにそれらをハイブリッド化して太陽電池の飛躍的向上を含めた新規エネルギーデバイスの創成を目指す総合的研究である。応募者はカーボン物質に関して長年の実績があり、世界的にも非常に高い評価を得ている。ナノスケール材料を基にして高機能を有するマクロ構造を実現するには、ナノ構造の精製技術と構造制御手法の確立が基本的課題であり、現状ではいまだ手探りの状態にあると判断される。</p> <p>しかし、研究の先進性、新たなデバイス創成についての可能性は非常に高く、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>